

36 期 2020-2021 年度 浜名湖ロータリークラブ週報

例会会場：浜名湖レークサイドプラザ 〒431-1424 静岡県浜松市北区三ヶ日町下尾奈 200 TEL・FAX 053-524-1177
E-mail hamanako@hamanako-rc.com HP <http://www.hamanako-rc.com>

例会日：毎週火曜日 12:30～13:30

会 長：内山 悦二 幹 事：小島 明良 公共イメージ向上委員会委員長：菅沼 秀介

第 1652 回例会 2020 年 11 月 17 日(火) 晴 VOL.36 週報 No.13

点鐘：内山 悦二 会長 SAA：戸塚 良平 ソング♪それこそロータリー

本日のプログラム：研修リーダー担当プログラム

本日のゲスト：なし

会員数 40 名 / 免除会員数 0 名 / 計算総数 40 名 / 本日の出席数 25 名 / 暫定出席率 62.5%

会長挨拶 * 内山悦二



改めまして、こんにちは。

コロナですけれども、少し寒くなってきてどうも第三波の様相を呈して来ました。

数字を再確認してみますと、11月15日現在・感染者数約11.7万人、死亡者数1,883名で回復者数10.1万人です。PCR検査数は約303万人です。皆様、今一度“正しく恐れろ”と言う事で十分ご注意ください。接触確認アプリのCOCOAというものが有りますが、私はそれを最近インストールしました。12月に予定していましたクリスマス例会はメンバーだけで行う予定も変更しまして、昼間の普通の例会にします。その代わりですが、夜に有志でのオンライン飲み会も企画中です。よろしくお願いします。

皆様もうご存知でしょうが、鈴木亘さんが勲章を受章しました。旭日単光章だそうです。

先週の土曜日、田中さんのみかん畑に行ってみかん切りのお手伝いに行ってきました。みかん狩りではなくみかん切りです。小島幹事そして白井さんのご家族や関係者で朝10時より4時頃までやらせていただきました。正直、畑が斜面でもあり中々大変でした。みかんには早生と青島があることも知りま

した。当日、入院中の田中さんよりお電話を頂きましたが、お元気そうで一刻も早く退院出来ますよう祈っています。

さて、今週の20日は“エビス講”の日です。こちらに移転して来る前には、会社や自宅でエビス様の絵の前に鯛やお供え物をして、お昼には皆に寿司の出前やお餅そして日本酒まで振る舞ったりする行事を欠かさずやってきました。エビス様は七福神の一人で商売の神様だそうです。農村では豊穰、漁業では豊漁をそして商家は商売繁盛の祈願をして来ました。神無月つまり旧暦の10月に他の神様が皆、出雲大社に出かけて行って留守を預かっていて、他の神様に代わって私たちを守ってくれるエビス様に対する感謝、そして置いていかれたエビス様を慰めるという意味もあるそうです。東京のべったら漬けや西宮の福男や大阪の今宮戎神社などの行事が有名です。

11月のお祝い おめでとうございます。

会員誕生日祝：中村 悟之 11月13日



幹事報告 * 小島明良



*配布物:

- ・1651 回週報
- ・ロータリーの友 11 月号
- ・ガバナー月信 11 月号

*配布物:

・次週の例会は、22日から24日(火)の通常例会に変更になります。お間違えのないようお気を付けください。久しぶりに外部講師に卓話をいただきますので、皆様ご出席をお願いします。

委員会報告

公共イメージ向上委員会 委員 後藤 成生

- ・ロータリーの友 11 月号の紹介

<横組み>

P3 RI 会長メッセージ

P8 グローバル補助金を知ろう

P18 どうなった? 例会

P28 世界中のロータリープロジェクト

<縦組み>

P13 卓話の泉

P16 友愛の広場

スマイル報告

内山悦二 本日は最近入会されたメンバーに依るスピーチです。入会前後の印象やクラブに望む事などのお話、お願いします。

小島明良 本日は研修リーダー原さん担当の例会です。よろしくお願いします。

中村悟之 11月13日誕生日です。小島さんと同じ日です。良かったです。

原 三留 研修リーダーでの卓話よろしくお願いします。

中村二三男 素晴らしい秋晴れです。みかんがおいしそうに色付き、畑はにぎわっております。

佐原功一郎 気持ちの良い小春日和ですね!!

杉山寿夫 暖かいですね! 本日も例会宜しくお祈りします。

本日のプログラム
【 研修リーダー担当プログラム 】

新会員の方々に、ロータリークラブに入会する前のイメージ、そして入会してからの印象等のお話しをしていただきました。

=====

戸塚 良平 会員



会社からの指示により何もわからない状態で入会し3年目となります。入会がミッション、という気持ちで参加をして参りましたが、2年という時間でロータリーにおける基本の基本は頭に入ったかと思えます。

今回のスピーチを機に改めて読み直した「今日からロータリアン」という冊子に次の文がありました。

「ロータリーは利己的な欲求と他人への奉仕という矛盾を和らげるもの」

まだこの言葉の全てを飲み込めていませんが、今後の活動に際して自身の指針になるのではないかと思います。

まずできる事として例会の積極的参加を念頭に、その中でロータリークラブという存在について自身の中で少しずつ消化できたらと思っています。

=====

中村 悟之 会員



皆さん、こんにちは。デンソーの中村です。最近お声がかかるようになり、先月に引き続き、お題を頂戴しうれしく思っています。今回のお題は、ロータリーへ入る前と後の感想や期待するもの、と伺いましたので思っていたことを少し忌憚なくお話し

したいと思います。

先週の例会スピーチでも中村さんから「アスモの中川監査役」という大変懐かしいお名前が登場していましたが、アスモ時代は歴代、監査役がロータリーへ参加していました。私も長いこと経営企画にいたものですから、監査役は良く知っています、お名前を言うと、中川眞臣さん、前川道信さん、服部浩三さん、高井清司さん、などです。監査役からロータリーのことはよく聞いておりましたので、ロータリーのメンバーとなる前後での違和感というのは実はあまりございません。ただ唯一あるとすれば、浜名湖ロータリーが湖西ロータリーではない、ということがわかったということです。ライオンズやクラウン会が湖西市単位です、漠然と浜名湖イコール湖西市と思っておりました。そして湖西市全般のいろいろなことが話題になっているのではないかと想像していましたが、それがあまりないのは、地域の捻じれといいますか、ピッタリではないのでそうではないのだな、という印象です。

ロータリーでは、政治的性格をもった事項について討議し、見解の採択をしたり、配布をしてはならないことになっていますが、浜松市と違って市内にロータリーがいくつもあるわけではございませんから、湖西市活性化のために浜松三ケ日・豊橋道路の開通や定住促進に対する情報展開、意見交換、持論の披露ぐらいはあってもいいかな、もしくはこういう話はロータリー以外のどこですか、と思いました。そういうこともあり、社長の皆様方とは違い、私は一社員として出席しており、その立場でロータリーって何か、と一言で言えていないのが現状です。

何故そんなことを思うかと言うとアスモからデンソー製作所へ変わり、湖西の私どもも変化している部分があるからです。役員湖西常駐は基本ゼロベースです。人事総務部で数十人近くいましたが、1/3程度まで減っていきます。管理職も相応に少人数となりました。これは湖西製作所が会社ではなくなったことに加えてデンソーの事業風土も影響しています。40年も事業部制度というのを継続しており、我々機能部門は事業部には属していませんが、機能部のコストは事業部に負担してもらっています。事業部は損益計算書の中で機能部を経費として認識し、それを踏まえて目標利益を目指していく、スタイルです。従い事業部から機能部に対する風当たりは強く、費用対

効果のジャッジが極めてシビアです。事業部は毎日円レベルで凌ぎを削って世界と戦っている、利益を生むところではない機能部はコスト見直し、仕事のサービス・付加価値向上による会社・事業部への貢献しかないのです。加えて、コロナ禍ということで、本社や他製作所も社会貢献、社外団体との連携といったアライアンスも継続的に見直しに入っている状況です。

私の仕事も今は製作所の再開発がメインですが、ロータリークラブへ出席する大義というか、効果部分というのを明確に定義していかねばならない、のではないかと、思っています。会社員ですのでいずれ異動や定年もありますので、次のメンバーや組織に伝えていかねばなりません。製作所としては湖西市へ前所長が出向しており、地域貢献は新しい姿勢で行っていますが、色々なアプローチの中でどの接点や部分が効果的であるのか、強弱をつけていかねばならないのかな、と思います。これが包み隠さずの今の実態でして、そういったことも少し考えながらロータリーへ参加し、今日も美味しいお食事をいただきました。

=====

浅若 正識 会員



6月下旬に入会させていただきましたがコロナの影響で直後の納涼例会は無くなり、8月から9月にかけては例会も休止となってしまいました。ということで今までは様々な行事・活動を通じて会員の皆さんとお話しさせていただく機会も少なく、仕方ないこととはいえ残念でした。

それ故にロータリークラブの平常時の活動を知りたいと思い、入会直後に歴代の前任者が遺してくれた「週報」を数年分読んでみましたところ、その幅広い活動に改めて感動しました。様々な委員会や地区大会、IM、職場訪問、年6回の各種親睦会、外国人留学生への支援や海外ロータリークラブとの交流など、改めて幅広く活動をされていることがわかりました。このような活動の裏にはメンバーの方々の多大なご苦勞や工夫をされていることが記事を通して伝わり、歴代の会員の

皆さま方の総智総力で乗り切ってこられた一体感を感じました。

ちょうど最近の例会で亀松名誉会員はじめ重鎮の皆さま方から、創立時のご苦勞や歴史を拝聴する機会を通じ、浜名湖ロータリークラブを築いてこられた先人のご尽力とチームワークに思いを馳せることができました。

このような背景や歴史を学び、また様々な委員会のミッションや狙いを理解することはとても有益と思います。既に毎年行われていると伺いましたが、時期を見て新入会員向けにこのような背景を含めたオリエンテーション（導入説明会）をしていただけるとロータリークラブ活動の理解に大変助かります。

引き続きコロナ下で制約も多く Web で例会を開催するクラブもあると聞いていますが、やはり顔を合わせて“やあ”という Face to face に勝るものはありません。こうやって皆さんお忙しい中時間をやり繰りして許される範囲で週に一度でも集うことが大切と感じております。本年、内山会長年度方針にもありますように、「今こそ 共に集い 共に楽しもう！」に思い致し、工夫をしながら大切にしてくださいと思います。ありがとうございました。

前回 (11/10) のプログラム 【 創立記念例会 】

創立初期に入会された方々に記念のスピーチをいただきました。

=====

「ロータリー入会について」 菅沼 仁司 会員



浜名湖ロータリーとご縁がありまして、早いもので 30 年が過ぎました。

私がこの場所でお話しすることができるのは、会員の皆様の温かいお言葉を 19 年前の時に多くの会員から頂いたことがあったので現在があると思っています。心より感謝を常に忘れないようにしています。

お話の順番が少し違っていますので、その時何

があったかをお話しします。

2001 年 16 期が会員の協力のお陰で無事終わり、最後の大事な報告書作成する時期に私の不注意で健康診断を一年忘れたために 2 年後に体の一部に異常が見つかりました。しかし、無事病気に負けず生還できました。

その時、会員の温かい言葉で元気をたくさんもらったことで、例会欠席が続いていましたが例会にも出席できるようになり大好きなロータリーが今も楽しく続いて満足しています。

振り返ってみますと、健康でない時には家族に最も負担をかけました。しかし、家族の温かさをたくさんいただき感謝の言葉しかありません。また、会員の皆様には色々な形でご迷惑をかけたが、心温まる友情に感謝しています。これからは常に感謝の気持ちを忘れずに恩返しすることに邁進します。

浜名湖ロータリークラブ入会は、1985 年創立の 5 年後の 1990 年 7 月に入会させていただきました。推薦人は、仕事上の関係者 2 名でロータリーの入会説明をしてくれました。入会の説明では、職業上および地域社会において良い世評を受けている者によって構成されているとのお話でした。そこで、ロータリーメンバーを紹介してもらおうと、地域の名士の集まりであることがわかりました。

私は恐れ多くて、仲間に入るにはハードルがあまりにも高すぎて悩む日が続きました。そんな中、JC 活動で同期に卒業した中村先輩にご指導を頂き迷わず入会を決断しました。

そして、限られた資源である時間を、自分が本当にやりたいことや仕事を通じて楽しく生きたいと思う気持ちを大切にすることとしました。常に感謝と恩返しできる行動をするために、もっと健康になるための準備をしていきたいと思いません。

プログラム案内

12 月 1 日(火) 戦略計画担当プログラム 理事会
グループディスカッション。

12 月 8 日(火) 年次総会

12 月 15 日(火) 特別休会

12 月 22 日(火) 親睦担当プログラム

12 月 29 日(火) 特別休会